

現代社会に求められる「絶対のセキュリティ」を実現。

最新認証アルゴリズム搭載。静脈パターン認証システム「VP-II™シリーズ」

手の甲の静脈パターンを識別することで、極めて正確な個人認証を可能にする静脈パターン認証システム「VP-II™シリーズ」。スタンドアロンによる利用から大規模システムまで、あらゆるシーンに対応。インターフェイスや諸機能の充実、優れた操作性など、「VP-II™シリーズ」は、従来のバイオメトリクス製品がなし得なかった、安全性・認証精度・快適な使用感を同時に実現します。

セキュリティを多面的に捉える、高付加価値認証システム。

【高い安全性】

成りすましや盗用防止

最新認証アルゴリズムを用いて分析し非生体による登録や成りすましを防止します。生体情報は高度暗号化技術で盗用を防止します。



※ 静脈パターンのイメージ

【高い認証精度】

極めて正確な個人認証

手の甲の静脈パターンは年齢による変化が極めて小さく各人固有です。バイオメトリクス認証装置の中でもVP-IIシリーズは他人受け入れ率(0.0001%)、本人拒否率(0.1%)と最高水準の認証精度を誇ります。

【快適な使用感】

スピーディで清潔

認証速度は0.4秒という速さでストレスなく使用できます。手の甲の認証は心理的圧迫感や不快感が少なく、認証を行うセンサは非接触型です。また抗菌ハンドルを使用しているため衛生的です。

簡単な登録と認証操作

登録

使用者にユーザ番号(2~8桁の数字)を設定。静脈パターンを登録。

認証

使用者はユーザ番号を入力。手の甲をかざして認証。



① ユーザ番号を入力



② 手をハンドルに差し入れ



③ 手の甲をかざして認証
※バックプレートはオプションです。

VP-II™のシステム構成例

右図はスタンドアロンシステムの基本構成です。(スキャナ+コントローラ) またオプション機器を使用することで、大規模システムに対応します。



VP-IIコントローラ

ドアの内側に設置。登録された静脈パターンデータをメモリ内に保存。スキャナから転送された静脈パターンを認証アルゴリズムにより処理。スタンドアロン使用時は250パターン*まで登録が可能。
*VP-II MJの場合

VP-IIスキャナ

ユーザ番号を入力し、手の甲をかざす。赤外線CCDカメラで、静脈パターンをスキャンしコントローラへ転送。管理者がシステム設定を行うことも可能。

